

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2019

秋

No.42

JUEN

【ジュエン】

Joetsu University of Education

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of Education

学園だより

入学2週間ですぐ合宿!?
学生による、学生のための集団活動に注目!

特集

上教大版

学生研修 の ススメ

代表は
誰がやる?

グループ討議の
テーマは?



スピーチ大会
誰が出る?



クラス企画
何する?

時間配分は
どうする?



連絡網を
作らなきゃ



次はいつ
集まる?



ドの読み練習 読音三列シート(新潟県、2009)を用いて音の形成理解を促した
構成する文字の抽出課題 単語を構成する文字を抽出する課題を用いた。
ツールを用いた文字の抽出・分析課題
単語を構成する文字の抽出・分析課題
単語を構成する文字の抽出・分析課題

インクルーシブ教育の 実現を目指して



研究室

へようこそ

環境への配慮が重要

今年の4月に上越教育大学に着任しました。先端教科・領域開発研究コースの学習支援領域に所属しています。これまで、発達障害などの特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する個別支援、及び通常学級全体への支援の実践と研究に取り組んできました。

発達障害は、日常生活、人との関わり、学習や仕事上で期待されることができないという発達上の問題が基本となります。発達上の問題は学習や特定の機能など限定した問題から、社会性や知的能力などの全般的な問題まで含まれます。発達障害の特性があるから日常生活や社会生活に制限を受けるのではなく、環境とのミスマッチが生じると制限を受けます。つまり、環境への配慮こそが重要なのです。

特別支援教育×教科教育

行動と環境条件との機能的な関係の分析に基づいて、環境に働きかける支援アプローチとして、応用行動分析があります。博士課程では、応用行動分析の手法の一つである集団随伴性に基づく支援に関する研究を行いました。

岩本 佳世 (いわもと かの) 臨床・健康教育学系 助教

専門は特別支援教育、応用行動分析学。愛知県出身。筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程障害科学専攻修了(博士(障害科学))。博士論文題目「小学校通常学級における相互依存型集団随伴性に基づく支援に関する研究：学級全児童の学習準備行動及び援助行動への効果」。東京都公立小学校教諭、文部科学省インクルーシブ教育システム構築モデル事業合理的配慮協力員、日本学術振興会特別研究員を経て、2019年4月に本学に着任。



■本研究室は、小学校通常学級での実践的研究を行っています。
■本研究に参加して下さる先生と児童を随時募集しております。
例: 表情・感情理解、感情のコントロールが苦手。家では話せるが学校では話せない。読み書きの学習が困難。
□お問い合わせ先 e-mail kayo@juen.ac.jp

学生へのメッセージ

インクルーシブ教育の実現を目指して、通常学級における特別支援教育に関する実践や研究に取り組んでみませんか? 興味のある方は、ぜひ研究室においでください。研究室は人文棟の8階です。



アイオワ大学からいただいたフリスビー



たくさんの出会いと学びあり

さまざまな人と関わりながら学ぶ

私が大学に入って一番驚いたことは、さまざまな人と関わる機会がたくさんあることです。同学年の人たちはもちろん、他学年の学部生や院生さん、そして現職の先生方と一緒に授業を受けたり、ゼミに参加したりしています。単科大学だからこそ、人と人の距離が近く、たくさん関わりすることができます。また学外でも、ボランティアに行った際に他大学やその地域の方と関わる機会もあり、そこで出会った方から子どもとの関わり方や話し方を学んだり、趣味が広がったり、本当にとってもたくさんの人たちと関わりながら学ぶことができます。

海外で行ったソーラン節の授業

今まで受けた授業の中で、とても印象に残っている授業があります。それは、アメリカの協定校であるアイオワ大学に行き、学生と交流したり、現地の子どもたちに日本の文化を教えたり、現地の文化を見たり体験したりする、「海外教育研究B」という授業です。私たちの班は、ソーラン節をテーマに授業を行いました。海外の子どもを相手に授業を行うための準備の過程で、ソーラン節のもととなったニシン漁に詳しい北海道の方に協力いただいたり、たくさんの本や資料を読み漁ったりしました。その上で、どんな英単語を使ったら子どもたちに伝わるのか、とても考えて準備しました。最終的に、現地の校長先生にも褒めていただけるような授業ができ、とてもいい経験ができました。このような海外に行って教育を考える機会もあり、他にもたくさんの理論的なもの、実践的なものなどさまざまな授業があります。それら全てを将来に生かしていこうと思ひ、日々勉強しています。



学部3年
学校臨床コース
(生徒指導総合)
中山 優香 さん

入学2週間ですぐ合宿!?
学生による、学生のための集団活動に注目!

上教大版 学生研修の ススメ

上越教育大学学校教育学部では、入学直後の「**新入生合宿研修**」、3年次生全員を対象とした「**学部3年次研修**」、及び各種課外活動団体の次期リーダー、副リーダー、マネージャーを対象とした「**リーダーズ・トレーニング研修**」を毎年実施しています。
研修プログラムは、各研修を担当する委員会において、委員会に所属する教員が実施目的に沿ったプログラムを策定します。



マネージャー・デ・ジョーキョー先生

VOICE

参加者の声

新入生合宿研修を通して、クラスの仲を深めることができただけでなく、自分の将来についても考えることができました。特に学生スピーチ大会では、教師を志した理由や地元への思いなどを聞くことができ、なぜ教師になりたいのかを見つめ直すことができました。この合宿で思ったことを忘れずに、今後の生活に役立てていきたいと思います。



学部1年次生 C1クラス
山本 悠哉 さん

主なプログラム (合宿1日目)

- **市内巡検**
春日山(水族館(うみがたり)→高田公園を見学)春日山で歴史に触れ、水族館で親和を深め、高田地区の附属学校等、本学施設の所在地を確認します。
- **就職指導** 指導：就職委員会委員長
教員就職に向けて「大学4年間でどのように学び、活動すべきか」について学びます。
- **健康管理指導** 指導：保健管理センター所長
学生生活における健康管理について学びます。
- **クラス企画発表会 (レクリエーション)**
2クラス合同で事前に準備した企画を発表し、クラス内外の親和を図ります。
- **天体観測 (雨天時は星座の学習)**
星の位置や星座を学習するとともに、夜空に輝く美しい星を観察します。

主なプログラム (合宿2日目)

- **学生歌・学園歌指導**
指導：混声合唱団(学生団体)
本学の学生歌及び学園歌を学びます。
- **自然散策**
自然体験活動を通してお互いの共通理解を深めます。
- **学生スピーチ大会**
自分の考えたことを言葉に出して人に伝えることにより自分の考えを持ち、お互いの理解を深めます。
- **クラス討議**
各クラスで、事前に討議方法及び討議テーマを企画し、自分の考えを発表し合うことにより、お互いの共通理解を深めます。



学生スピーチ大会

自分の思っていることを素直に言うことができ、信頼関係が深まりました。



クラス討議

色々な観点から意見を交換できました!



学生歌・学園歌指導

ひよこを救え!



クラス全員で準備した企画は大成功!



クラス企画発表会

友達との絆を深めてきてください。



開講式

2019年
合宿研修の
様子

研修の目的
入学後間もない時期に集団活動(生活)を通じて、新入生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ります。

研修1
新入生合宿研修
まずは仲間づくり!

- **対象者**
学部1年次生全員
- **実施場所**
・上越教育大学講堂
・国立妙高青少年自然の家
(妙高市大字関山6323-2)
- **実施時期**
4月 第3金曜日～土曜日
(一泊二日)

2019年4月20日(土) 2日目 | 2019年4月19日(金) 1日目

16	解散	移動	表彰式・閉講式	アンケート記入	クラス討議	屋食・休憩・準備	学生スピーチ大会	移動・準備	自然散策	移動・準備	清掃・点検	朝食	起床	7	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8:00		

さまざまなことを語り合い、夜がふけました。

合格した人の経験談を聞いてモチベーションが上がりました!

上杉謙信公ゆかりの春日山神社を散策!

帰るのは名残惜しい...



ふきのとうを見つけました!



晴れているときは満天の星が見られるよ。



天体観測



就職指導



市内巡検

2019年度ver. 入学から新入生合宿研修当日までの流れ



入学2週間ですぐ合宿!! 代表は誰? 企画は何する?
合宿研修準備に大注目!

VOICE 担任の先生から
 入学式後の新入生オリエンテーション、クラスセミナー。クラス代表・幹事の選出から、新入生合宿研修の準備はスタート! 「人間教育学セミナー」の時間に、クラス企画発表会の内容検討、スピーチの代表者選出、クラス討議のテーマ選定を行い、当日に向けて準備を進めます。各クラスの代表は昼休みに複数回集合し、各クラスの企画の調整や合宿研修での役割分担をします。
 入学後まもなく、新たな生活に慣れていない時期、慌たしい毎日の中で準備は本当に忙しく、大変そう! でも、タイムマネジメントが上手な1年生たち、様々なイベントをテキパキと運営し、無事に合宿研修は終了。その成果は、大学への帰着後、名残惜しそうに仲間と談笑する姿に表れていました。

C1クラス 担任 吉澤 千夏 准教授

研修② 学部3年次研修

2019年度ver.(予定)

教育実習を振り返って……

研修の目的
 3年次初等教育実習を終えた時期に、自らのキャリア形成に向けた道筋を思い描くことで、教職に対する理解を一層深めることを目的とした研修です。また、教員採用試験に合格した先輩方の体験談を聞き、アドバイスを受ける時間も用意されています。

併せて、上越市内施設にて自然観察活動を行い、子どもへの指導の基礎を学びます。

対象者
 学部3年次生全員

実施場所
 ・上越教育大学講堂 など

実施時期
 10月初旬

主なプログラム

- 研究倫理教育
 指導: 研究倫理担当 副学長
- 自然体験
 水族館見学、水族館職員による教育プログラム(レクチャー)の実施
- 講演
 新潟県教育委員会からの講演
- 論文文指導
 論文の書き方について、キャリアコーディネーターが指導
- 各県等教育委員会、ハローワーク等職員による説明会
- 先輩の体験談
- 学習計画の立案と発表

2018年 学部3年次研修の様子



※プログラムの内容は2019年と異なります。

主なプログラム

- 研修のガイダンスとリスクマネジメント
- 研修①「熱中症予防」
- 研修②「課外活動団体のマネジメント」
- 研修③「アイスブレイク」
- グループ討議①
 部活動における問題点や悩みを共有し、意見をまとめる
- グループ討議②
 グループ討議①の内容を発表
- 研修④「救命講習会」

※年度毎にプログラムを計画します。

研修③ リーダーズ・トレーニング研修

2018年度ver.

リーダーの資質をみがく!

研修の目的
 講演や意見交換等の活動を通して、課外活動団体のリーダーとしての任務を深く認識させるとともに、その資質の向上を図ります。また、課外活動団体相互の理解を深め、充実した課外活動の運営と発展に寄与するリーダーの育成を目指します。

対象者
 各課外活動団体の次期リーダー、副リーダー、マネージャー

実施時期
 3月上旬

大学の思いや願いが込められている 学生研修

学生研修には、大学の思いや願いが込められています。新入生合宿研修は、入学後間もない時期、慣れないひとり暮らしに、毎日学食など外食中心の食事、学業や生活に必要な諸手続も多く疲れが出る頃。そんな皆さんに、大自然の中でこれからの生活で大切なことを学びながら、張り詰めていた気持ちから解放され、早く生活のペースをつかんでもらいたいという思いが込められています。

学部3年次研修では、初等教育実習を終えての間もない時期に、実習で抱えた様々な思いを同級生と共有し、整理し、様々なプログラムを通して未来への活力にしたいという思いが込められています。

リーダーズ・トレーニング研修では、リーダーとしてチームをまとめ導くにはどうしたらよいかを皆で考えます。

そしてこの研修も、皆さんに主体的に活動してもらうことで協働することの大切さ、素晴らしさを感じてもらいたいと思っています。

このように学生研修には、学生一人ひとりが輝き、充実した学生生活を送ることで、それぞれの目標を達成してもらいたいという思い、そして願いが込められています。

学生委員会委員長 上野 正人 教授

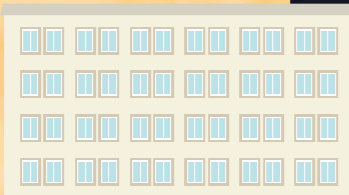
My Free Time!

学生宿舎

空きコマは学生宿舎に戻って友達とのんびり過ごします。宿舎と学校の距離が近いので、すぐ帰ってゆっくりできます!



What are you up to?



library

課題をするならやっぱりココ。資料となる本がすぐそこにあるし、図書館2階は会話ができるスペースもあります。指導案づくりやグループワークがはかどります。

My Free Time!

図書館



※改修工事のため、2020年3月まで休館中ですが、臨時閲覧室、臨時学習スペース等を利用できます。



空きコマ

何してるの?



ELM CAFE
(イーエルム カフェ)

今年新装開店した喫茶室です。今流行のタピオカやシェイクなど、勉強終わりに甘い物を食べに行くのに最適! もちろんご飯もあります。人気メニューのロコモコは、美味しすぎ! 週替わりメニューも充実していて、時間を気にせず友達と過ごせます。

My Free Time!

喫茶



Lunch Menu



My Free Time!

第一食堂

Cafeteria

第一食堂で集まることも。食べたり飲んだりしながら話し合いをしたり、ゲームをしたり……。

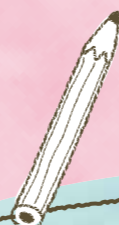


My Free Time!

POTATO

Free space

空きコマに人気の場所!! 少人数で集まって話し合いをしたり、課題をしたり……。人が多い所では話し合いが進まない……なんて思っている人はぜひPOTATOで!



編集後記

上教大の学生は色々な方法で空きコマを活用していることがわかりました! 「上教大生のひろば」に関わることが出来て良かったです!

本多 奏子 学部2年 幼児教育コース
上田 彩羽 学部2年 教職デザインコース



写真に参加してくれた学生さん

- 上野 将大 学部2年 学校臨床コース(学校心理)
- 庭村 南都 学部2年 幼児教育コース
- 五十嵐 裕児 学部2年 教職デザインコース
- 菅野 直弥 学部2年 教職デザインコース
- 細野 憲一 学部2年 教職デザインコース
- 森田 康哉 学部2年 言語系コース(英語)
- 中原 光星 学部2年 生活・健康系コース(保健体育)

こんにちは! 自転車部です

自転車部は、自転車に乗ることを楽しもうという理念からつくられた部です。自転車部には二つの部門があります。主にロードバイクに乗り大会などに参加する部門と、ママチャリに乗りその土地の景色や食べ物などを楽しむ部門です。自転車部は2年前にできたばかりの新しい課外活動団体です。まず、全員で交通ルールを学ぶことからスタートし、その後各部門においてその年度の目標や行先、どの大会に出るかなどを話し合い、練習計画を立てています。学部生だけではなく、大学院生も所属しているので、年齢に関係なく楽しく活動しています。

風を切る爽快感!

ロードバイクはお金がかかるのでは? 初めて乗るのはなんだか怖い……と思う方も多いと思います。
私は大学に入って初めてロードバイクを買い、乗り始めました。漕げば進み、体勢が低くスピードが出るロードバイクは怖かったですが、それ以上に自分の足でこんなにスピー

ドが出せるの?! という感動と風を切る爽快感に魅了されました。

また、体を動かしたいという人にも自転車は最適です。足で漕いでいるように見えますが、実は上半身を支えている腕の筋肉や足を動かすためのお腹や背中中の筋肉も使われています。

新しいことを始めたい、体を動かしたい、自転車に乗ることが好きなど多くの人に自転車の楽しさを知ってもらいたいです。私たちと一緒に楽しく自転車に乗りましょう!



DATA

平成31年4月現在
部員数/12人
活動日/不定期
活動場所/大学周りの公道
活動実績/佐渡ロングライド、つくば8時間耐久レース

【取材協力者】

学部2年
学校臨床コース(学校心理)
水落 優

ヨリ・ミチ図工室

子どもがものづくりを楽しむ場所

ヨリ・ミチ図工室は、上越市立小林古径記念美術館と一緒にやっている、放課後の小学生を対象とした造形活動(「ヨリ・ミチ図工室」)の企画運営、子ども達のサポートが、主な活動内容です。「図工室」に来る子ども達は、ものを作ったり、絵を描いたりすることが大好きです。子ども達とどんな活動をしたら楽しめるか、学生達で試行錯誤しながら企画を考え、準備をしています。

「ヨリ・ミチ図工室」の取り組みは、今年で3年目になり、新潟県立近代美術館にもご協力をいただき、鑑賞の活動を行っています。また、様々な教育機関と関わりながら、活動を展開していることも特徴です。これからも、子ども達が美術、芸術に気軽に楽しみ、親しみを持ってもらえることを目標に、活動に取り組んでいきます。

活動を通して学ぶこと

子ども達は毎回、私達では思いつかないようなアイデアをどんどん出して、楽しんで活動に取り組んでくれます。そのたびに私達自身も新しい発見をしたり、様々なことに気づかされたりして、とても勉強になっています。

また、美術館等と一緒に活動することを通して、大学での学びとは異なる貴重な経験をさせてもらっているように感じています。

多様な学生との交流

「ヨリ・ミチ図工室」は、美術コース以外の様々なコース、学部生、院生がともに活動しています。他コースとの交流も「ヨリ・ミチ図工室」の良さの一つです。子ども達と一緒に活動してみたい、図画工作の題材のネタを増やしたい、など少しでも興味を持った方、いつでもお待ちしております!

DATA

令和元年7月現在

部員数/17人
活動日/毎週水曜日
活動場所/資料作製室(美206教室)
上越市立歴史博物館
活動実績/今年度のこれからの活動予定
9月 紙を使った工作
10月 糸を使った造形あそび
11月 毛糸を使った活動
12月 近代美術館と活動

【取材協力者】

大学院3年
芸術系教育実践コース(美術)
伊藤 舞実



*図工室を開催する場所は、美術館が現在改装中のため、市内の小学校の図工室(2017年~2018年)、上越市立歴史博物館(2019年)でしたが、2020年からは新しい小林古径記念美術館になる予定です。

附属学校だより

AI時代を主体的・共創的に
生き抜く生徒の育成

— 自己調整、創造性、人間性に着目して —



マスコットキャラクター「ふぞくま」



「主体的」

学び続ける意欲をもち、見通しをもって粘り強くやり抜こうとすること。

知能をもつロボット、IoT、ARなどに囲まれ、究極の便利さや快適性を深く考えることもなく享受できる時代、加率的に変化する現在の中で、生徒たちはもちろん、大人でさえも自分自身で生き方をデザインしなければなりません。また、これまでの社会における価値観が大きく揺らぎ、自身の生き方に加えて、自分と自然や社会との関係を見失ったり、社会の在り方について正しい答えが見つけられなかったりすることが危惧されています。だからこそ、どんな未来や世の中にしたいのか、人として何を大切にして生きていきたいのか、一人一人が



自己調整

一生学び続ける意欲や学び方を身に付けている。



「共創的」

多様な他者と協働して、よりよい発想や活動を創り上げようとする。

思いやビジョンを描くことが必要となつていきます。また、多様な価値観をもつ他者と協働して共に新しい社会を切り拓く必要があります。そのためには、人、もの、この本質をつかみ、正しい判断ができる力を育成することが中等教育の喫緊の課題となつていると考えます。
そこで、私たちは、数年後の予想もできない現在やその予想できない未来も含めてAI時代と呼び、多様な他者と協働してその未来を創り上げるために必要な資質・能力を備えた生徒の姿を「主体的・共創的に生き抜く生徒」として設定し、このような生徒を育てる教育課程の研究



創造性

新たな価値を見いだしたり意味付けたりできる。



人間性

道徳性、社会性、感性などの人間としての強みを生かそうとする。

二〇一九年度
教育研究協議会のご案内

期日 令和元年10月11日(金)
内容 全体会・公開授業・協議会・講演会
講師 経済産業省 浅野大介 様

を行うことになりました。具体的には、生徒が各教科の見方・考え方を働かせて各教科等の本質に迫ることができるよう学習過程を工夫し、生徒自身がモニタリングを効果的に活用できる場を設定することで、主体的・共創的に学ぶ生徒の姿を目指していきます。また、総合的な学習の時間においては、各教科で高めた資質・能力を十分発揮できるように、実社会や実生活の中から見いだした問いを基にして教科横断的に考えたり、職業や自己の将来について考えたりできるように探究的な学習を行っています。
(研究主任:大崎 真)



修了生からの
お便り



学び多き2年間で 糧として……

大学院を修了し、8年ほど経過してありますが、「がん教育の外部講師をお願いできませんか。」「今年の学生が食物アレルギーの管理指導表の活用について研究したいと言っているけど、実態はどうかな。」と相談を受けたり、実践研究や養護教諭の業務について助言をいただいたり、現在も大学の先生方との連携が続いています。

附属小学校で健康教育の授業実践をしていた私は、「自分の体について学ぶのは楽しいな。」と子供が思う授業をしたいと考えていました。そこで「これからの時代を生きていく子供にとって必要な健康教育は何だろう。」という思いから、平成22年に学校ヘルスケアの5期生として入学しました。研究室には、現職の養護教諭を始め、養護教諭や栄養教諭の免許状をもち教員を目指す学生等が在籍していました。仲間や先生方と、養護教諭が行う健康教育についてじっくり考えられたことは、一生の宝です。

今、養護教諭に求められる役割は多岐にわたっています。保健室へ来室する理由は、体調不良やケガだけではありません。大学院では、養護教諭の専門的分野のみならず、教師の職能発



丸山 美貴
(まるやま みき)

新潟県上越市出身。養護教諭。新採用で湯之谷村立東湯之谷小学校に着任し、小学校1校・中学校2校に勤務後、平成18年から上越教育大学附属小学校勤務。附属小学校に在籍中の平成22年に生活・健康系コース学校ヘルスケアへ入学する。その後、上越教育事務所・指導主事を務め、現在は上越市立春日中学校に勤務。平成29年県指定「がん教育授業実践モデル校」を実施する。

達や教員組織、特別活動、統計の分析や解釈等について、現職教員や学生と意見を交わす十分な時間に恵まれました。このことは、確実に今の業務に生きていると感じています。

先日、「大学院在学中、研究調査でお世話になった○○です。新採用で○○中学校に勤務しています。」と、うれしい知らせが届きました。大学院での出会いが人と学びのネットワークとして様々につながり、広がっています。この出会いに感謝するとともに、これからも目の前の子供の成長に尽力したいと思っています。

上教大 なんでも 掲示板

アクティブ・ラーニングを実践できる教員の養成

上越教育大学では、授業において一方的な知識伝達型講義ではなく、聞く、話す、まとめる、発表するなどの能動的な活動を学生に促すため、教室及び附属図書館をアクティブ・ラーニングの授業方法を実践できる環境としています。

具体的には、教室の机・椅子を固定式から移動式の個人机・椅子に取り替え、グループワーク用の移動式ホワイトボードを複数設置し、AV機器のデジタル化などです。

アクティブ・ラーニングの授業方法は、「21世紀を生き抜くための能力」を構成する基礎力、思考力、実践力を高めるために有効な手段の一つです。教員養成系大学である本学が授業にアクティブ・ラーニングを取り入れることは、学校現場においてアクティブ・ラーニングを実践し、子供達の能力を最大限に引き出すことができる教員を養成することに繋がります。



グループワークを実践する
講義室及び図書館

講義室で使用している
移動式の机・椅子

古本等リサイクル募金の 導入

上越教育大学リサイクル募金

上越教育大学リサイクル募金は、皆様から読み終え不要になった本・DVD等をご提供いただき、その査定額を「上越教育大学基金」に寄附していただく取組です。

寄附金は、上越教育大学基金において、学生の修学支援、教育研究活動の充実発展をはじめとした事業に役立てられます。



上越教育大学リサイクル募金チラシ



「上越教育大学リサイクル募金」ご寄附の方法

WEBサイトやお電話での申込み

お申込みをされる方は、上越教育大学リサイクル募金オリジナルサイトをご覧ください。
※WEBサイトからお申込みをお勧めしております。

●WEBで申込み(受付/24時間・365日)
kishapon.com/juen/
上越教育大学 リサイクル募金 検索

●電話で申込み(受付/9:00~18:00・365日)
☎0120-29-7000
オペレーターに団体ID **187** とお伝えください。

回収ボックスを利用した申込み

読み終えた本・DVD等を学内外に設置した回収ボックスに入れてください。
※この場合、匿名によるご寄附となり、申込書は必要ありません。

古本・DVD等回収ボックス
設置場所
大学会館売店、附属図書館、
学生宿舎事務室、附属幼稚園、
附属小学校、附属中学校
に回収ボックスを設置しました。



令和元年度 理事会報告



元号が令和に改まって初の理事会が、会長の高橋雅史先生、副会長の荒川圭子・山本浩昭の両先生、同窓会担当副学長の直原幹先生ほか、例年より多い13名の役員の出席を得て、6月1日(土)に本学において開催されました。

会長挨拶、参加者の自己紹介の後、令和元年度の理事(学内理事として、大場浩正・佐藤ゆかり・松本健義・五十嵐史帆・竹野欽昭・佐藤多佳子・渡辺徑子・中野博幸・松井千鶴子・稲垣応頭の各教員・敬称略)、現在17ある支部の支部長または連絡窓口の幹事、再編されたコース(領域)選出の院生評議員(21人)が紹介・承認されました。次いで、昨年度の事業と会計報告、今年度の事業と予算案が示され承認されました。

具体的には、昨年度は3つの支部会(北海道・宮城・静岡)への学長・副学長等の参加、3件の修了生への研究助成、本学創立40周年記念事業への参画として昨年の8月2日(木)の長岡花火大会での花火打ち上げ等が報告されました。

また、今年度も、①会員名簿の更新、②会誌等の発行、③本学に関する各種助成(院生協議会助成、海外教育研究

助成、卒業生・修了生への研究助成)、④学生支援・就職支援助成(学位論文概要補助)、⑤支部十各専攻コース等の同窓会助成を行うこと等が提案されました。特に、継続審議であった前述40周年事業の一環としての在院生への経済支援である奨学金について、向こう10年間、現有の『くびきの奨学金』に基金の一部を組み入れること、1年をかけて大学院と学部同窓会との統合を検討していくことが了承されました。

いかがでしょうか?ざっと、同窓会の近況を報告してみました。が、「あつ、懐かしい名前!」「へー。そうなんだ!」など、感じて頂けたら幸いです。修了生の皆さん、ぜひ母校をお訪ねください。皆さんの「心の居場所」の一つは上越市の山屋敷にあります。扉はいつでも開いています。

事務局長 稲垣 応頭
(上越教育大学大学院 教授)

「夢が叶うことを願って」

上越地方の水田が黄金に輝く季節になりました。稲穂が風にそよぎ姿を見ると改めて日本の良さを認識して、穏やかな気持ちになるのは私だけでしょうか。スポーツの秋、食欲の秋など、秋を形容する言葉は様々ですが、本学に集う学生の皆さんにとっては勉学の秋も忘れてはならないでしょう。本学での学びの集大成とも言える卒業研究や修了のための研究など、特に最高学年の皆さんにとっては、収穫の季節になっていると思います。

本学は、昨年10月に創立40周年を迎え、思いを新たにこの4月からスタートを切りました。大学院では専門職学位課程(教職大学院)を拡充して、これまで以上に教育実践力を身につけた教員を養成すると同時に、道徳を始め、小学校英語やプログラミング教育など学校現場での喫緊の課題に対応できるコース・カリキュラム等を設置するなどの改革を行いました。近年、教員の職場環境が厳しいなどの風評もあり、教員を志望する学生が減少傾向にあります。また、将来、子供達の数が減り、それに伴い教員採用数が減少する見込みであることなどから、教員養成系大学や学部は対応を迫られています。その様な中で、これからの教育を変えて行くと思われる科学技術の進歩

に関わるキーワードをよく耳にします。Society 5.0、第4次産業革命、ICT、AI、ロボット、ビッグデータ、5G、EdTech、スタディ・ログ、STEM(STEAM)教育、グローバル、……。将来、これまで人間が行ってきた教育活動の一部は、AIを始めとする先端技術に置き換わるかもしれません。しかし、教師でしかできない教育活動は依然として大きなウエイトを占めることは間違いなくでしょう。本学は、その様な時代でも力を発揮できる教師の養成を目指します。

教員の職場環境の厳しさが取りざたされている中、学校現場でも働き方改革が言われ、教師の仕事内容も見直されつつあります。日本の小学校の週平均勤務時間は54・4時間、中学校は56・0時間で、OECDの調査でも、調査対象国48ヶ国中、共に最長だったようです。しかも若手教師ほど勤務時間が長くなる傾向があるようです。その様なこともあり、文科省は今年の1月に残業時間を月45時間、年360時間とする指針を決定して、勤務環境の改善を図ろうとしています。学校現場に浸透するのは先になるかもしれませんが……。それでも教師としてのやりがいや心を秘め、子供達を育てるとい

う重要性を理解した上で、教師を目指して本学に集う学生の皆さんの夢を叶えるために本学は最大限の努力をします。皆さんの夢が叶うことを願いながら、最後に松下幸之助翁の言葉をご紹介します。

青春とは心の若さである。
信念と希望にあふれ、勇気にみちて、
日に新たな活動が続けるかぎり、
青春は永遠にその人のものである。

皆さんも信念と希望を持って学修・研究活動に励んでください。



学長 川崎 直哉

修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。詳細については、公式ホームページをご覧ください。 [上越教育大学 同窓会](#) 検索

お問い合わせ先 上越教育大学大学院同窓会事務局 E-mail:dousoukai@juen.ac.jp

インタビュー 大学院で輝く人

大学院(修士課程)
社会系教育実践コース 2年
あまのまぎひで
天野 雅英 さん



大学院入学のきっかけ

教育系の大学での4年間をアメフト部の活動に打ち込んできましたが、ふと「このまま教師になって大丈夫なのだろうか?」と不安になりました。それまでは日々の部活動に精一杯で、教師という仕事や自身の働き方について全く考えてきていませんでした。このことを大学の先生に相談すると、上越教育大学大学院を紹介していただき、免P制度もあり、現職教員の方やストレートマスターの大学院生が多く在籍していることから、進学することを決意しました。大学の先生には「修士論文を書くことは非常に大変なことだけれど、きっと教師になってからの君の力になるよ。」とありがたいお言葉で送り出していただきました。

大学院生活について

大学の先生のお言葉通り、修士論文執筆は本当に大変です。何度も心が折れそうになりました。しかし、それでも熱心に指導して下さる研究室の先生や頼もしい仲間を支えられて充実した日々を過ごしています。また、本学で学ぶ中で、教育に対する理解や自身の教育観のようなものが少しずつ深まっていくのを実感しています。本当に進学してよかったです!

教員採用試験などの就職支援活動も非常に充実しています。Pプラ(プレースメントプラザ)では、論作文指導や面接指導をはじめとする就職支援に加え、全国の自治体の教員採用試験の情報も取り扱っています。同じ目標を持つ仲間と一丸となって

教師を目指せる仕組みが整っていることも本学の大きな魅力の一つだと思います。

休日には

1年の時の休日には、アメフトの社会人チームに所属し、車で約1時間かかる長岡市で活動していました。今後もアメフトは続けたいと思っています。

最後に

気付けば大学院に入学してからもう1年半が経過してしまいました。大学時代とはまったく異なる新鮮な毎日を過ごしています。大学院修了後、立派な教師として子供達の前に胸を張って立てるように、残りの期間も一生懸命たくさんのことを学んでいきたいと思っています。



インタビューを終えて

いつも明るく元気な天野君はどんな授業でもとにかくよく発言します。今回のインタビューでもたくさんのお話を聞きました。今年、教員採用試験を受け、修士論文も書き上げる仲間として非常に頼もしいです。残りの期間も一緒に頑張ろう!!

■聞き手・文(写真左)
大学院(修士課程)
社会系教育実践コース 2年
金尾 将規

免P = 教育職員免許 取得プログラム

本学大学院入学者で、教員免許を持っていない方や他校種、他教科の教員免許を取得したい方を対象に、長期履修学生制度を利用し、2年分の学費で3年間在学し、大学院の教育課程と学部の教員養成カリキュラムの単位を修得することにより、教員免許状を取得することができるプログラムです。



アンケートにご協力ください
公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からもご回答いただけます。QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。